

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成 19 年 8 月 30 日 (2007.8.30)

【公開番号】特開 2003-159827 (P2003-159827A)
 【公開日】平成 15 年 6 月 3 日 (2003.6.3)
 【出願番号】特願 2002-203235 (P2002-203235)
 【国際特許分類】

B 4 1 J 2/21 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 1 A

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 7 月 12 日 (2007.7.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】インクジェット記録装置、インクジェット記録方法、データ供給装置、データ作成方法、プログラム、記憶媒体

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 少なくとも第 1 のインクと当該第 1 のインクよりも高い浸透性を示す第 2 のインクを被記録媒体に付与して記録を行うインクジェット記録装置であって、

前記被記録媒体上の複数の単位領域のうち、前記第 1 のインクの付与量が所定量を超える単位領域を検出する検出手段と、

前記検出手段により検出された単位領域に対して前記第 2 のインクを付与するために前記第 2 のインクの付与データを作成する作成手段と、

を有することを特徴とするインクジェット記録装置。

【請求項 2】 少なくとも第 1 のインクと当該第 1 のインクよりも高い浸透性を示す第 2 のインクを被記録媒体に付与して記録を行うインクジェット記録装置であって、

前記被記録媒体上の複数の単位領域毎に、当該単位領域に対応する前記第 1 のインクの付与データに基づいて前記単位領域に対して前記第 2 のインクを付与するか否かを決定する決定手段を有することを特徴とするインクジェット記録装置。

【請求項 3】 前記決定手段は、前記第 1 のインクの付与データが示す前記第 1 のインクの付与量が所定量を超える単位領域に対して前記第 2 のインクを付与することを決定し、前記第 1 のインクの付与データが示す前記第 1 のインクの付与量が所定量を超えない単位領域に対して前記第 2 のインクを付与しないことを決定することを特徴とする請求項 2 に記載のインクジェット記録装置。

【請求項 4】 前記単位領域は、一定の画素数で構成される領域であることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載のインクジェット記録装置。

【請求項 5】 前記第 1 のインクは前記第 2 のインクと反応することを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれかに記載のインクジェット記録装置。

【請求項 6】 前記第 1 のインクはブラックインクであり、前記第 2 のインクはカラーインクであることを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれかに記載のインクジェット記録装置。

【請求項 7】 ブラックインクと当該ブラックインクよりも高い浸透性を示し且つ当該ブラックインクと反応するカラーインクを被記録媒体に付与して記録を行うインクジェット記録装置であって、

前記被記録媒体上の複数の単位領域毎に、当該単位領域に対応するブラックインクの付与データに基づいて当該単位領域に対するブラックインクの付与量が所定量を超えるか否かを判断する判断手段と、

前記ブラックインクの付与量が所定量を超えると判断された単位領域に対して前記カラーインクを付与するための前記カラーインクの付与データを作成する作成手段とを備え、

前記ブラックインクの付与量が所定量を超えると判断された単位領域に対して、前記ブラックインクの付与データに基づいて前記ブラックインクを付与し且つ前記カラーインクの付与データに基づいて前記カラーインクを付与することを特徴とするインクジェット記録装置。

【請求項 8】 ブラックインクと当該ブラックインクよりも高い浸透性を示し且つ当該ブラックインクと反応するカラーインクを被記録媒体に付与して記録を行うインクジェット記録方法であって、

前記被記録媒体上の複数の単位領域毎に、当該単位領域に対応するブラックインクの付与データに基づいて当該単位領域に対するブラックインクの付与量が所定量を超えるか否かを判断する判断工程と、

前記ブラックインクの付与量が所定量を超えると判断された単位領域に対して前記カラーインクを付与するための前記カラーインクの付与データを作成する作成工程と、

前記ブラックインクの付与量が所定量を超えると判断された単位領域に対して、前記ブラックインクの付与データに基づいて前記ブラックインクを付与し且つ前記カラーインクの付与データに基づいて前記カラーインクを付与する付与工程と、

を有することを特徴とするインクジェット記録方法。

【請求項 9】 ブラックインクと当該ブラックインクよりも高い浸透性を示し且つ当該ブラックインクと反応するカラーインクを被記録媒体に付与して記録を行うインクジェット記録装置へデータを供給するためのデータ供給装置であって、

前記被記録媒体上の複数の単位領域のうち、当該単位領域に対するブラックインクの付与量が所定量を超える単位領域を検出する手段と、

前記検出された領域に対して前記カラーインクを付与するための前記カラーインクの付与データを作成する作成手段と、

を有することを特徴とするデータ供給装置。

【請求項 10】 ブラックインクと当該ブラックインクよりも高い浸透性を示し且つ当該ブラックインクと反応するカラーインクを被記録媒体に付与して記録を行うインクジェット記録装置で用いられるデータを作成するためのデータ作成方法であって、

前記被記録媒体上の複数の単位領域のうち、当該単位領域に対するブラックインクの付与量が所定量を超える単位領域を検出する検出工程と、

前記検出工程において検出された単位領域に対して前記カラーインクを付与するための前記カラーインクの付与データを作成する作成工程と、

を有することを特徴とするデータ作成方法。

【請求項 11】 少なくとも第 1 のインクと当該第 1 のインクよりも高い浸透性を示す第 2 のインクを被記録媒体に付与して記録を行うインクジェット記録装置で用いられるデータを作成するためのコンピュータに、

前記被記録媒体上の複数の単位領域のうち、前記第 1 のインクの付与量が所定量を超える単位領域を検出する検出工程と、

前記検出工程において検出された領域に対して前記第 2 のインクを付与するために前記第 2 のインクの付与データを作成する作成工程と、

を実行させることを特徴とするプログラム。

【請求項 1 2】 コンピュータにより読み出し可能なプログラムを格納した記憶媒体であって、請求項 1 1 に記載のプログラムを格納したことを特徴とする記憶媒体。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 2】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するための本発明は、少なくとも第 1 のインクと当該第 1 のインクよりも高い浸透性を示す第 2 のインクを被記録媒体に付与して記録を行うインクジェット記録装置であって、前記被記録媒体上の複数の単位領域のうち、前記第 1 のインクの付与量が所定量を超える単位領域を検出する検出手段と、前記検出手段により検出された単位領域に対して前記第 2 のインクを付与するために前記第 2 のインクの付与データを作成する作成手段と、を有することを特徴とする。

本発明は、少なくとも第 1 のインクと当該第 1 のインクよりも高い浸透性を示す第 2 のインクを被記録媒体に付与して記録を行うインクジェット記録装置であって、前記被記録媒体上の複数の単位領域毎に、当該単位領域に対応する前記第 1 のインクの付与データに基づいて前記単位領域に対して前記第 2 のインクを付与するか否かを決定する決定手段を有することを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 3】

また、本発明は、ブラックインクと当該ブラックインクよりも高い浸透性を示し且つ当該ブラックインクと反応するカラーインクを被記録媒体に付与して記録を行うインクジェット記録装置であって、前記被記録媒体上の複数の単位領域毎に、当該単位領域に対応するブラックインクの付与データに基づいて当該単位領域に対するブラックインクの付与量が所定量を超えるか否かを判断する判断手段と、前記ブラックインクの付与量が所定量を超えると判断された単位領域に対して前記カラーインクを付与するための前記カラーインクの付与データを作成する作成手段とを備え、前記ブラックインクの付与量が所定量を超えると判断された単位領域に対して、前記ブラックインクの付与データに基づいて前記ブラックインクを付与し且つ前記カラーインクの付与データに基づいて前記カラーインクを付与することを特徴とする。

また、本発明は、ブラックインクと当該ブラックインクよりも高い浸透性を示し且つ当該ブラックインクと反応するカラーインクを被記録媒体に付与して記録を行うインクジェット記録方法であって、前記被記録媒体上の複数の単位領域毎に、当該単位領域に対応するブラックインクの付与データに基づいて当該単位領域に対するブラックインクの付与量が所定量を超えるか否かを判断する判断工程と、前記ブラックインクの付与量が所定量を超えると判断された単位領域に対して前記カラーインクを付与するための前記カラーインクの付与データを作成する作成工程と、前記ブラックインクの付与量が所定量を超えると判断された単位領域に対して、前記ブラックインクの付与データに基づいて前記ブラックインクを付与し且つ前記カラーインクの付与データに基づいて前記カラーインクを付与する付与工程と、を有することを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

また、本発明は、ブラックインクと当該ブラックインクよりも高い浸透性を示し且つ当該ブラックインクと反応するカラーインクを被記録媒体に付与して記録を行うインクジェット記録装置へデータを供給するためのデータ供給装置であって、前記被記録媒体上の複数の単位領域のうち、当該単位領域に対するブラックインクの付与量が所定量を超える単位領域を検出する手段と、前記検出された領域に対して前記カラーインクを付与するための前記カラーインクの付与データを作成する作成手段と、を有することを特徴とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

また、本発明は、ブラックインクと当該ブラックインクよりも高い浸透性を示し且つ当該ブラックインクと反応するカラーインクを被記録媒体に付与して記録を行うインクジェット記録装置で用いられるデータを作成するためのデータ作成方法であって、前記被記録媒体上の複数の単位領域のうち、当該単位領域に対するブラックインクの付与量が所定量を超える単位領域を検出する検出工程と、前記検出工程において検出された単位領域に対して前記カラーインクを付与するための前記カラーインクの付与データを作成する作成工程と、を有することを特徴とする。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

また、本発明は、少なくとも第1のインクと当該第1のインクよりも高い浸透性を示す第2のインクを被記録媒体に付与して記録を行うインクジェット記録装置で用いられるデータを作成するためのコンピュータに、前記被記録媒体上の複数の単位領域のうち、前記第1のインクの付与量が所定量を超える単位領域を検出する検出工程と、前記検出工程において検出された領域に対して前記第2のインクを付与するために前記第2のインクの付与データを作成する作成工程と、を実行させることを特徴とする。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

また、本発明は、コンピュータにより読み出し可能なプログラムを格納した記憶媒体であって、請求項11に記載のプログラムを格納したことを特徴とする。